

## 第3回気高地域振興会議

と き 令和3年7月27日(火)

午後2時00分から

ところ 気高町総合支所 第1・2会議室

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 議事

(1) 小さな拠点の取り組みについて …資料1(別紙)

浜村地区活性化委員会の活動状況について …資料1-2

(2) 7月7日(水)～7月11日(日) 大雨について…資料2

(3) 気高地域学校統合準備委員会の活動状況 …資料3

#### 4 その他

会長会の日程 8月25日(水) 14:30～16:00 鳥取市役所本庁

内容 ワークেশョンの取り組みについて

小さな拠点の取り組みについて

遊休施設の利活用について

\*次回の日程について

10月5日(火) 14時00分～

#### 5 閉 会

## 気高地域振興会議 委員名簿

(敬称略)

No.	氏 名	選出 区分	備 考	備考
1	地原 伸	1	気高町自治連合会長	
2	久野 壯	1	逢坂地区むらづくり協議会副会長	副会長
3	塩田 則夫	1	瑞穂地区まちづくり協議会会長	
4	河根 裕二	2	ヤサホーガイドの会事務局長	会長
5	木下 公明	2	元鳥取市立北中学校長	
6	渡辺 雅子	2	元鳥取市立青谷小学校長	
7	鈴木 陽子	2	気高地区民生児童委員	
8	宇津原 あけみ	2	鳥取西地域商工会女性部	
9	田中 敦志	3	公募	
10	近藤 可菜	3	公募	
11	松井 千晶	3	公募	
12	澤口 和也	3	公募	

令和3年4月1日～令和5年3月31日

1	三谷 裕之		支所長	
2	久野 明男		副支所長	
3	久田 恵美子		市民福祉課長	
4	岡田 久司		産業建設課長	
5	石井 盛光		地域振興課長補佐	

## 浜村地区活性化委員会活動状況について

○組織立上げ 令和2年9月17日

○運営目標

「みんなで支え合い、いつまでも安心して暮らし続けることができるまち」の創造をコンセプトとし、課題解決にあたっては住民、地域活動団体、住民団体、事業者、行政等が手を携え、連携・協力するとともに役割を分担しながら明るい未来に向けてまちづくりに取り組む。

○令和2年度実績 6回開催

○活動成果

浜村地区がどうすれば、安心して暮らせる町になるか協議。13名の委員と鳥取大学地域学部佐藤研究室の協力も得ながら「浜村地区まちづくりランドデザイン」を完成させた。

○令和3年度目標

「浜村地区まちづくりランドデザイン」を基にして、より具体的な実施計画を作成する。

○現在の開催状況

・第1回 7月2日(金)

役員の決定(敬称略) 会長:山本正信、副会長:小谷英明、宮原翔太郎  
監事:中嶋輝雄

○今後の予定:

・第2回 8月20日(金)

内容:ランドデザインの項目別方向性を基に、取り組み易い内容について検討。

浜村地区活性化委員会名簿

	団体名等	委員	備考	
1	きらり☆浜村まちづくり協議会	山本正信	まちづくり	交代
2	西商工会 気高地区活性化委員会	水田祐二	まちづくり	新規
3	浜村温泉商店会・気高町観光協会	小谷英明	商工・観光	継続
4	道の駅 気楽里	徳岡義広	道の駅 気楽里	新規
5	カイちゃんスタンプ会	奥田博之	商工	継続
6	浜村小学校振興会	米田悦明	教育関連	交代
7	鳥取市西地域つながる会	濱本泰章	福祉関係	継続
8	気高町自治連合会	地原 伸	浜村地区幹事	交代
9	金融会	中嶋輝雄	鳥取銀行浜村支店長	継続
10	UJIターン	宮原翔太郎	移住者	継続
11	UJIターン	山寺みゆき	移住者	継続
12	UJIターン	片山 梓	移住者	継続
13		木下公明	教育関連	継続
14		三谷裕之	行政	継続
15	鳥取大学地域学部佐藤研究室	森田恒志郎	アドバイザー	継続
16	鳥取大学地域学部佐藤研究室	福田耕太	アドバイザー	新規
17	一般	近藤賢治	応募	新規
18	一般	近藤可菜	応募	新規
19	一般	川瀬亮彦	応募	新規
20	一般	萩原 董	応募	新規
21	地域振興課	久野課長	事務局	
22	産業建設課	岡田課長	事務局	
23	市民福祉課	久田課長	事務局	
24	地域振興課	石井課長補佐	事務局	
25	地域振興課	藤田主任	事務局	

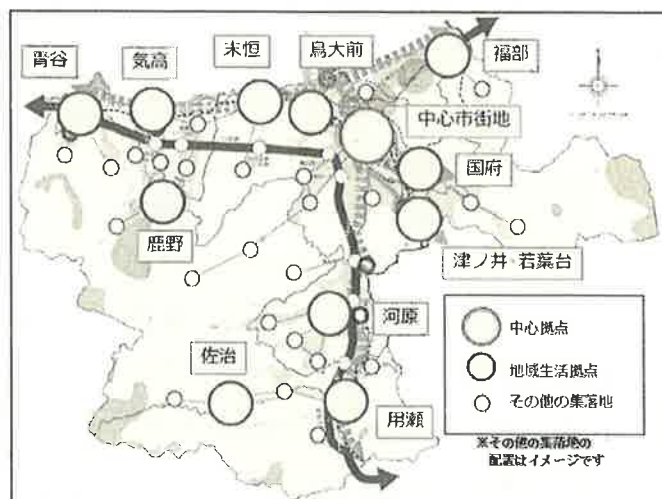
# 浜村地区まちづくりグランドデザイン 概要版

みんなで支え合い、いつまでも安心して暮らし続けることができるまち

## 浜村地区が担っている役割

浜村地区は気高地域の半数を超える人口を抱えており、経済においても地域を支える重要な地区です。鳥取市が進める多極ネットワーク型コンパクトシティ構想※においても、浜村地区は地域の中心地として、生活サービス機能が充実した「地域生活拠点」と位置づけられています。

気高地域の逢坂、瑞穂、酒津、宝木地区は少子高齢化の進展が激しく、食料品店が衰退し買い物のほとんどを浜村駅周辺に依存しています。また、浜村地区においても、駅周辺から離れれば、人口減少や高齢化が著しく、交通手段の確保も困難になってきています。今、住民と行政が力を合わせ、浜村地区の拠点性を高めることが、将来にわたって住み慣れた地域で暮らすために重要です。



多極ネットワーク型コンパクトシティのイメージ

※多極ネットワーク型コンパクトシティ

「鳥取市都市計画マスタープラン」や「鳥取市総合計画」では、既に高度な都市機能が集積している中心市街地を「中心拠点」、身近な生活サービス機能が集積している総合支所周辺などを「地域生活拠点」と定め、各拠点が提供するサービスを分割分担し、各拠点やその他の集落地をバスなどの公共交通で効率的に結ぶ「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指しています。



小さな拠点取り組みイメージ

## 浜村地区グランドデザイン

### 作成の目的

将来にわたって住み慣れた地域で暮らすためには地域にどのような機能が必要か、住民が日々感じている思いを話し合い、将来像を語り合って作り出したのが、この「浜村地区活性化の将来計画（グランドデザイン）」です。いつまでも楽しく暮らせる未来を実現するために、取り組むべき課題やテーマを示し、様々な主体が持続可能な地域社会を築く指針として作成しました。

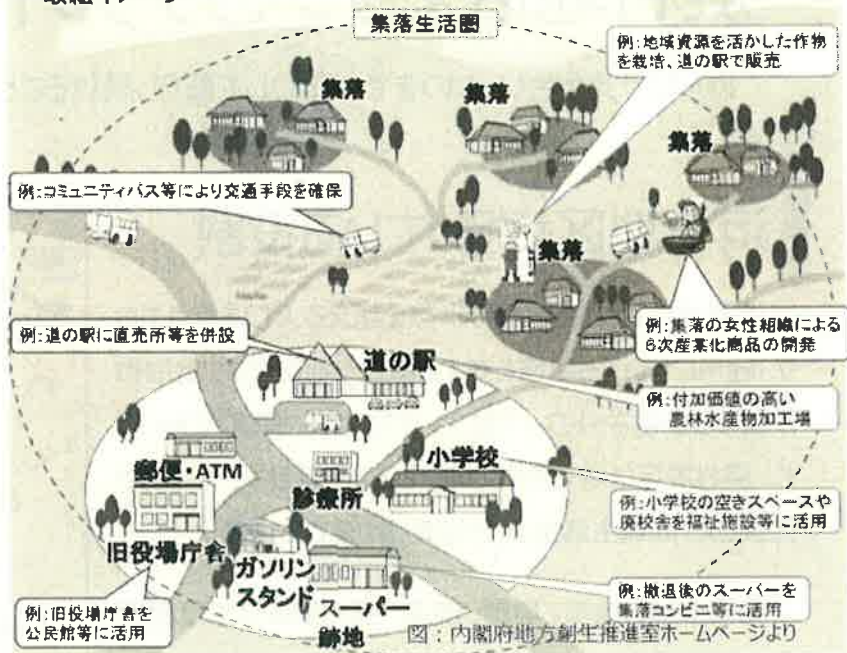


縮小する社会を見据え、国・県・市が進める「小さな拠点事業」を活用して、私たちそして子どもたちが、いつまでも地域で安心して暮らしていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

### コンセプト

「みんなで支え合い、いつまでも安心して暮らし続けることができるまち」の創造をコンセプトとし、課題の解決にあたっては住民、地域活動団体、住民団体、事業者、行政等が手を携え、連携・協力するとともに役割を分担しながら明るい未来に向けてまちづくりに取り組みます。

### 取組イメージ



### 体系

だれでも、いつまでも浜村地区で幸せに暮らしていくために必要な事柄について、世代や性別、専門分野が異なる13人が委員会を組織し、鳥取大学地域学部佐藤研究室の3人の学生にもアドバイザーとして参加してもらいながらワークショップ形式で検討を進めました。鳥取大学地域学部佐藤准教授に助言をいただきながら次の体系に分類し、課題や方向性について示しました。

《ランドデザイン体系図》



## 項目別課題と方向性

項目	課題	方向性
1 暮らしを大切に するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 世帯あたりの人員減少、高齢化等による集落役員のなり手不足</li> <li>➤ 地域活動への参画者の減少</li> <li>➤ 最も身近な共助組織である自治会の弱体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 住民一人ひとりの困り感を捉え、対応策をみんなで検討する</li> <li>➤ 自治会、老人クラブ、女性会、保護者会など、組織の必要性やあり方を見直し、整理・強化していく</li> </ul>
2 交通の利便性 が高いまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 気高循環バスは、運行路線がわからない、乗車場所がわかりづらい、バスの時刻とJRの発着時刻がかみ合っていない</li> <li>➤ 日常生活の中で気軽に出かけることができる交通手段がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 気高循環バスの運行について利用しやすいバスダイヤ・路線に見直す</li> <li>➤ 日常の買い物や、地域間を結ぶあらゆる交通手段の多様化を図り、地区単位やNPOなどによる共助交通を検討する</li> </ul>
3 みんなが安心 して暮らす福 祉のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域で支え合う力の弱体化</li> <li>➤ きめ細かなサービスを住民自らが提供できる支え合いの取り組みが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 共に助け合い、支え合いながら、いきいきと暮らしていくまちづくりを進めようとする「地域福祉」に対する意識の醸成と、具体的な推進体制の整備</li> </ul>
4 住民がつなが るまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 浜村地区公民館には独自の施設がない</li> <li>➤ 気高町コミュニティセンターの老朽化</li> <li>➤ 年齢を問わず活動できる体制づくりと、その拠点となる施設の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ニーズ調査と交流を深める事業に取り組む</li> <li>➤ 活動拠点の確保に向け、浜村地区公民館の整備と気高町コミュニティセンターの建て替えを早急に検討する</li> <li>➤ 状況によっては空き家を利活用し、コミュニティスペースを確保する</li> </ul>
5 空き家の活用 と美しい街並 みのまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 古い家屋が空き家になってきている</li> <li>➤ 野生動物が入り込んだり、倒壊の恐れがあるなど、危険家屋となるものもある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 空き家を活用できる地域資源として調査・提供できるよう「空き家バンク※」に取り組む</li> <li>➤ 行政と連携し安全で安心な町並みを整える</li> <li>➤ 住民自らが環境美化に取り組む</li> </ul>
6 歴史・文化を 継承する貝が ら節のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 貝がら節の歌い手や踊り手の減少</li> <li>➤ 各集落に伝わる文化・伝承未来に引き継ぐ必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 若い世代にも貝がら節にもっと親しんでもらえるよう、音楽を積極的に活用する</li> <li>➤ 歌と踊りを継承する団体の連携と活動拡大</li> <li>➤ 伝統ある民俗行事など、歴史・文化の再認識と地域学習の推進</li> </ul>
7 みんなが気軽 に温泉に入れ るまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 日帰り入浴施設の検討</li> <li>➤ 集落単位で管理されている共同浴場について、地元で理解を求め、今後の施設の良い維持管理の継続も視野に入れ、一般開放の可能性を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 温泉が、有効に利活用できていない現状を再度確認し、まちぐるみで、「温泉のまち」を構築するよう取り組む</li> <li>➤ 温泉は浜村地区の大きな魅力であることを認識し、個人加入者の利用促進を進める</li> </ul>
8 豊かな自然を 楽しむまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 美しい海岸線、ヤサホーパーク、サーフィン、国道9号線のサイクリングロードなどの地域の自然の魅力をさらにアピールし、地域住民はもとより地域以外の人でも安心して自然を楽しむ環境を作ることが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 浜村遊漁センターを活用するなど、サーファーをターゲットとしたショップの誘致</li> <li>➤ コロナ後の社会を見据えたワーケーションの取り組み検討</li> <li>➤ ヤサホーパークのイベント活用や、近くにカフェを開店するなど、ゆったりと自然を楽しむ環境作り</li> </ul>
9 気軽に商いが できるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ JR浜村駅前周辺は、店舗が減少し、商店街と呼ばれていたエリアも衰退しつつある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 起業意欲がある方からのさまざまな相談に対して情報を提供する拠点や窓口の整備</li> </ul>

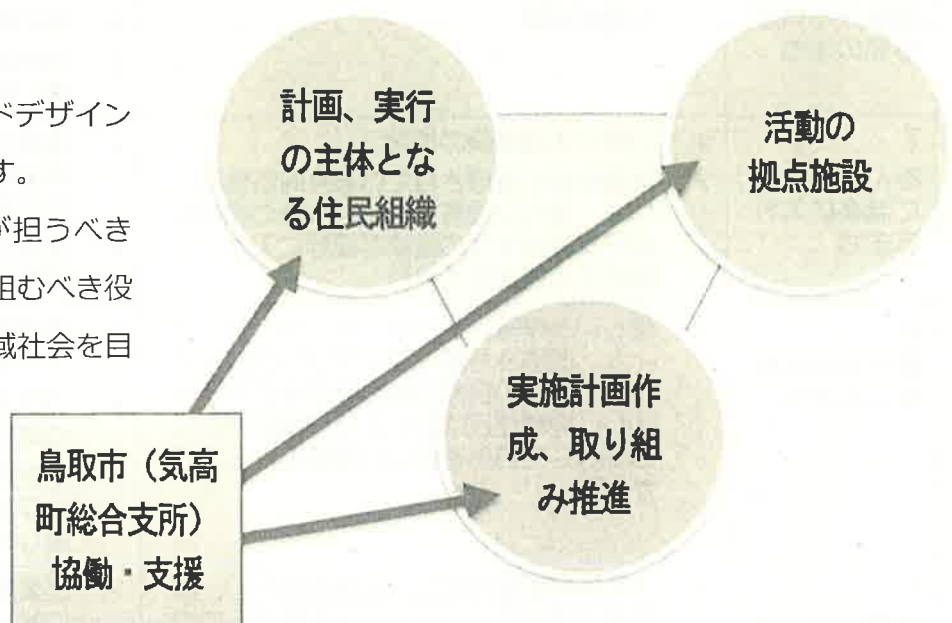
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅だけではなく、店舗であった建物も空き家が増加している</li> <li>日頃の生活に影響のあるさまざまな店舗を減らさない</li> <li>意欲のある起業者、魅力ある店舗の出店を考えている人への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取西商工会、気高町観光協会、浜村温泉商店会、自治会等との調整を図りながら協議検討</li> <li>起業にあたっての補助事業の利活用なども併せて相談できる窓口を検討</li> </ul>
10 生き生きと農業ができるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者として頑張っている方がある一方で、後継者不足、高齢化等による農業の担い手が減少</li> <li>耕作放棄地の増加</li> <li>農業所得の向上につながる農業経営を支援する取り組みの強化の必要性</li> <li>農業経営が持続できるよう働きかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲ある農業の担い手や農業経営者に対して、タイムリーかつ的確に営農指導や相談できる場所を提供</li> <li>鳥取いなば農業協同組合など農業関連団体との連携を強化</li> <li>魅力ある「農業と食」を推進することが重要</li> </ul>
11 漁業が活発なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者の就業状況は高齢化等により減少</li> <li>支援制度の周知等により、新規漁業就業者を増やす</li> <li>漁業の経営に関して所得の向上につながる支援や施策の強化が必要</li> <li>漁港の施設設備の適切な維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県漁協など漁業関係団体と連携を強化し、情報を共有</li> <li>消費者のニーズ把握を行い独自の商品開発（ブランド化）を地域ぐるみで行う</li> <li>漁港及び周辺地域でのイベントの開催し、漁業収入を増加させる取り組みを行う</li> <li>「漁業と食」の魅力を発信しながら、新規漁業者を開拓する</li> </ul>
12 災害に強い組織と人をつくるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、気候変動が激化しており、思わぬ災害に遭遇する可能性が高まっている</li> <li>災害の種類、時間帯、環境によって避難の仕方は変わるため、様々な状況に日頃から備えておく必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各集落の自主防災組織や、浜村地区の自主防災会の強化を図る</li> <li>避難所までの避難経路を検証する実践的な訓練や、避難行動要支援者支援制度の活用推進が求められる</li> </ul>

※ 空き家バンク：「空き家バンク」とは、空き家の賃貸・売却を希望する人から申込みを受けた情報を、空き家の利用を希望する人に紹介する制度です。

## 活動の方向性

令和3年度は、このグランドデザインを基に、実施計画を作成します。

住民が取り組む役割、行政が担うべき役割、各種組織・団体が取り組むべき役割を明確にし、持続可能な地域社会を目指して、可能なことから一つずつ取り組んでいきたいと考えています。



【問い合わせ先】

浜村地区活性化委員会 事務局

鳥取市気高町総合支所 地域振興課

Tel.0857-82-0011 FAX0857-82-1067



令和3年7月7日(水)～7月11日(日) 大雨について

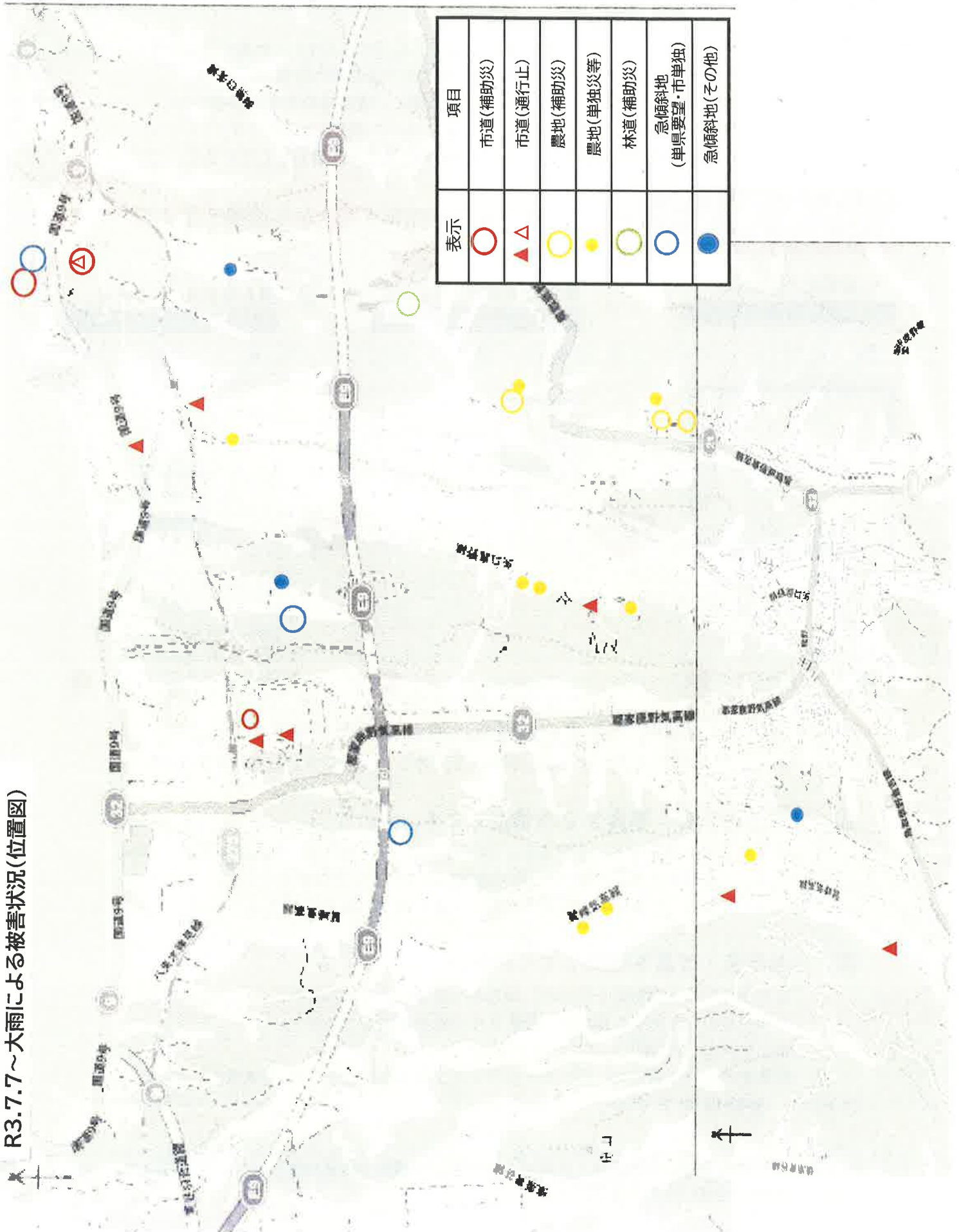
1. 気象経過・配備体制・避難情報・避難所設置経過

日付	発令時刻	気象経過・配備体制・警戒レベル	避難情報	対象地域(気高町)	開設避難所(気高町)	解除日	解除時刻
7月6日	16:30	災害警戒庁内連絡会議開催					
7月7日	6:57	鳥取市北部【大雨警報(土砂災害)】発表 鳥取市南部【大雨警報(土砂災害)】発表 市災害警戒本部体制警戒配備を発令					
	7:33	鳥取市北部【大雨警報(土砂災害,浸水害)】発表					
	8:41	鳥取市北部【洪水警報】発表【大雨警報(土砂災害,浸水害)】継続					
	9:25	鳥取県土砂災害警戒情報第3号発表 対象地域：鳥取市北部、鳥取市南部 市災害対策本部体制第1配備発令					
	9:32	鳥取市南部【洪水警報】発表【大雨警報(土砂災害)】継続					
	9:30	市災害対策本部会議開催					
	10:40	警戒レベル3	自主避難所開設 高齢者等避難	市内全域 気高町	気高町コミュニティセンター 逢坂地区公民館、瑞穂小学校、宝木小学校	7月10日 7月9日	8:00 16:36
	12:38	市災害対策本部体制第3配備発令	避難指示	気高町逢坂地区、 気高町浜村地区	浜村小学校、逢坂小学校、逢坂地区公民館、 瑞穂小学校、宝木小学校	7月9日	16:36
	12:46	警戒レベル4	(緊急安全確保)	(吉成南町1,2丁目)	(美保南小学校)	7月8日	5:37
7月8日	14:01	警戒レベル4	避難指示	気高町瑞穂地区	瑞穂小学校	7月9日	16:36
	4:28	鳥取市南部【洪水警報】解除【大雨警報(土砂災害)】継続					
	9:50	鳥取市北部【洪水警報】解除【大雨警報(土砂災害)】継続					
	14:31	鳥取市北部【洪水警報】発表【大雨警報(土砂災害)】継続					
	15:48	鳥取市南部【洪水警報】発表【大雨警報(土砂災害,浸水害)】継続					
	19:55	鳥取市北部【洪水警報】解除【大雨警報(土砂災害)】継続					
7月9日	16:00	鳥取市南部【洪水警報】解除【大雨警報(土砂災害)】継続 鳥取県土砂災害警戒情報第13号発表 解除対象地域：鳥取市北部、鳥取市南部 市災害警戒本部体制警戒配備(本部体制第3配備からの移行)					
7月11日	20:25	鳥取市北部【大雨警報(土砂災害)】解除 鳥取市南部【大雨警報(土砂災害)】解除					

## 2. 被害状況

項目	区分	件数	内訳
農地	補助災害	3	上光2、下光元1
	単独災害等	9	土居1、上光1、富吉1、山宮2、上原1、下光元1、重高2
市道	補助災害	3	宝木酒津水尻線(酒津)、母木坂線(奥沢見)、勝見5号線
	通行止	7	冠水等(通行止解除済み)
		1	母木坂線(通行止継続中)
林道	補助災害	1	おそごえ線(夏ヶ谷)
急傾斜地	単県要望	2	高江(慶寿院)、日光(角田氏)
	市単独	1	酒津(庄司氏)
	その他	3	個人対応
計	(内)補助案件	30 (9)	

R3.7.7～大雨による被害状況(位置図)






## 鳥取市インフラ維持投稿システム 『みつけたろう』のご案内

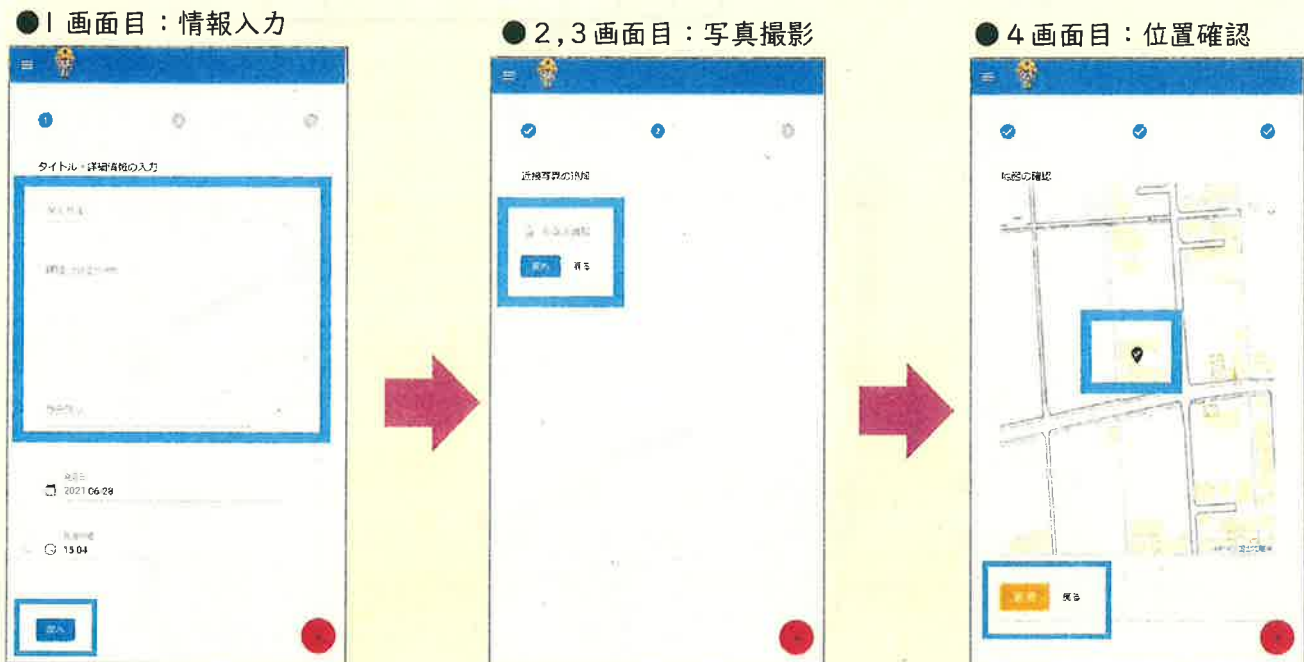


令和3年7月下旬より、鳥取市インフラ維持投稿システム『みつけたろう』が利用できることになります。

この『みつけたろう』は、全市域の町内会会長の皆様が、町内で発生した市の管理するインフラ施設に関し、道路陥没や水路崩壊など、事故に直結する危険性を秘めた事象について投稿していただき、投稿情報を市の管理部署といち早く共有対処することを目的としています。

### 投稿画面

ログイン後の各画面の右下  から投稿できます。



- ① 1画面目：発見した事象の情報を入力してください。  
タイトル（自由に設定）と状況（詳細）を入力し「カテゴリ」を選択して【次へ】
  - ② 2, 3画面目：写真を2枚撮影します。  
クリップマークをクリックすると、「写真をとる」「アルバムから追加する」などのメニューが表示されます。（ご利用の機種により文言に差異があります）  
1枚ずつ撮影（アルバムから選択）し、合計2枚登録してください。
  - ③ 4画面目：位置を確認してください。  
その場で写真を撮影した場合は、現在地の位置が表示されます。  
アルバムから追加した場合は、撮影された場所が表示されます。  
正しければ、【送信】してください。  
位置ずれている場合は、黒いチェックマークを指で移動した後、【送信】してください。
- これで、登録は完了です。

※その場で写真を撮影した場合は、送信ボタンを押した場所が位置情報として送信されます。  
必ず、その場で送信してください。



## MY 投稿 参照

MY 投稿では、自分の投稿に限定してご確認頂けます。



★ 対応状況や担当者からのメッセージを確認できます。

※メッセージは本人のみ表示

★ ステータスの変更やメッセージがある場合は、画面右上に「🔔」が表示されます

★ マイページより、メールアドレスを登録しておくとお知らせメールも届きます。

## エリア投稿 参照

エリア投稿では、同地区内の投稿が全てご確認頂けます。



★ 同じ地区内の他の方の投稿と、ステータスが確認できます。

★ 通信欄は、本人以外参照できません。

★ 参照可能地区（エリア）は、ユーザ登録時に設定されます。



## 気高地域学校統合準備委員会の状況

答申を受けての基本方針 令和2年12月22日

気高中学校区の小学校のあり方についての基本方針

- 1 逢坂小学校、宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校の4校は、気高地域の中長期的な姿を見据え、1つの学校として新設統合する。
- 2 新設の時期、新設校の位置、教育理念、教育環境整備、学校名、校歌等については、関係する学校および地域の関係者で構成する会議を令和2年度内を目安に立ち上げ、検討する。教育委員会はその検討結果を尊重することとする。
- 3 上記組織においては、この地域での中長期的な児童生徒数の減少の状況を踏まえ、小中一貫型の学校の設置についても選択肢の一部として検討する。
- 4 上記組織はこの地域周辺の中長期的な児童生徒数の減少の状況を踏まえ、必要に応じて同一ブロック内の中学校区との情報交換及び協議も行う。

### ○気高地域学校統合準備委員会の設置

委員長 久野 壮 (逢坂小学校区地域代表)

副委員長 湯口史章 (浜村小学校区地域代表)

副委員長 三谷知生 (瑞穂小学校区 PTA 代表)

#### ・構成メンバー

逢坂小学校、宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校の各校区の地域代表者

気高地域の小・中学校長、PTA 代表、保育園長、保育園保護者代表

### ○開催状況

第1回 令和3年3月5日(金)19:00～

- 1) 委員長、副委員長の選出
- 2) 気高中学校区の4小学校に関する教育委員会の方針について

第2回 令和3年5月10日(月)19:00～

- 1) 地域住民及び保護者への情報提供について
- 2) 学校用地の選定について
- 3) 通学方法について

第3回 令和3年6月8日(金)19:00～

- 1) 講演会 テーマ 小中一貫校教育について (講師 木下公明氏)
- 2) 学校種の決定方法について

第4回 令和3年7月14日(水)19:00～

- 1) 学校種及び設置位置について

# 地域とともに学校を創る



## ～気高地域学校統合準備委員会だより～

### 第3回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

木下公明さんに小中一貫教育についてご講演いただきました！！

6月8日、19名の委員さんの参加のもと、第3回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。前回の会議で小中一貫校について詳しく話を聞いてみたいという意見があり、気高地域出身で鳥取市に初めてできた小中一貫校「鳥取市立湖南学園」の初代校長を務められた木下公明先生を講師に迎えご講演をいただきました。

講演で、「新しい時代を生きていく子どもたちに必要な力を養うため、国と

しても、社会の変化・子どもの変化に柔軟に対応できる教育システムとして小中一貫教育を推し進めており、それぞれの地域が抱える課題解決のための1つの選択肢として気高地域においても検討してはどうか。」といったことから話されました。そして、小中一貫校設立に関わられた体験談として、「学校統合は地域文化の融合であり各校区に根差した文化を守りながら気高文化へ発展させていくような取組が重要です。」と言われ、運動会を例にあげてご説明をいただきました。最後に、あくまでも「子どものための統合」という第一義を最優先とし、「なぜ統合したのか大人たちが子どもたちにも説明できるよう、統合準備委員会でしっかりとした議論をする必要がある。」としめくられました。

本委員会では次回以降、さらに新しい学校の学校種や設置位置について議論を深めていきたいと考えています。あらためてこのたび、気高地域の将来を担う子どもたちのためご講演いただきました、木下公明先生に紙面をかりて感謝を申し上げます。



平成20年4月に県内初の小中一貫校として開校した湖南学園の様子

※第3回会議資料・議事概要はこちらからご覧いただけます⇒



議論の内容を紹介します

～第3回気高地域学校統合準備委員会の議論より～

◆学校種（学校の形態）について

いきなり小中一貫校にするよりも、まず4つの小学校を1つの小学校に統合するほうがいいのではないのでしょうか。



でも、将来的に小中一貫校にするなら、今からその時のことも考えておく必要がありますね。

◆学校の場所について

中学校の周辺は高低差があるので、校舎とグラウンドを行き来するのに時間がかかってしまうのではないのでしょうか。



これからは小・中学校の先生が授業のため学校を行き来することが増えてくるようです。学校が離れていると子どもや先生の移動が大変になるのではないのでしょうか。

ともだちたくさん、楽しいね（気高中学校区の交流の様子をご紹介！！）

気高町内4つの小学校では、日ごろから様々な機会を捉えて交流をおこなっています。6月22日には、宝木小学校・瑞穂小学校の児童とひかり保育園の園児が近くの畑でじゃがいも掘りを行いました。

当日は、天候が心配されていましたが、良い天気恵まれ正に子どもたちの活動を天が応援してくれるなか、園児・児童がふれあいました。小学校統合に向けてこのような活動を通じて、各学校の児童同士の仲間意識が育まれています。

なお、交流の様子は各校のホームページでもご覧いただけます。子どもたちが安心して学校へ通えるようこれからも見守っていきたいと思います。



発行：気高地域学校統合準備委員会  
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室  
TEL : (0857) 30 - 8405  
E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp